

作成日 : 2019年03月06日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : GreenscreenPaint

製品番号 (SDS NO) : GreenscreenPaint-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 塗料

供給者情報詳細

供給者 : 株式会社ニシムラ

住所 : 〒132-0035東京都江戸川区平井1-8-2

電話番号 : 03-3685-5200

FAX : 03-3637-4105

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

発がん性: 区分 2

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

発がんのおそれの疑い

長年にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
二酸化チタン	13463-67-7	5 - 10	1-558
1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン	2634-33-5	< 0.005	9-1845
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	55965-84-9	< 0.0015	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

記載なき成分は日本公表危険物質リスト(NITE 平成29年度)に該当しません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

二酸化チタン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

二酸化チタン

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

被災者を温め、安静にする。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

溶剤、シンナーを使用してはならない。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

可燃性に分類されない。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

燃焼の際に有毒な分解生成物(炭素酸化物、アクリレート、メタクリレート、スチレン)を生成する。

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

- 関係者以外は安全な場所に退去させる。
- 霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 区域より退避させる。
- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。
- 適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 下水、排水中に流してはならない。
- 河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
- 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

- 汚染箇所を洗剤、水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

注意事項

- 皮膚に触れないようにする。
- 眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品は固体成分としてフィルターを含むので使用前に混ぜること。
- 希釈したり他の製品(塗料)と混ぜたりしないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 日光から遮断すること。
- 指定温度で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 上限保存温度 :35°C
- 下限保存温度 :5°C
- 施錠して保管すること。
- 乾燥した場所に保管すること。

避けるべき保管条件

- 酸化性物質、強塩基および強酸から離して保管すること。

容器包装材料

密閉型の塗装缶、プラスチック缶以外の容器には移し替えないこと。

容器。配管に適した材料:ステンレス鋼、被覆鋼、ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(二酸化チタン)

日本産衛学会(2013) 0.3mg-ナノ粒子/m³

(二酸化チタン)

ACGIH(1992) TWA: 10mg/m³ (下気道刺激)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質:ニトリル、ブチルゴム、PVC

眼の保護具

化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣とシューズまたはブーツを着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状 : 液体

色 : 緑色

臭い : 特有臭

燃焼性 : 不燃性

引火点 : > 100°C

比重/密度 : 1.2 (水=1)

粘度 : 1-1.15Pas (25°C) (ストーマー粘度計, ASTM 法D-562)

溶解度

水に対する溶解度 : 混和する

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

避けるべき条件

品質を維持するために高温と低温をさける。

混触危険物質

酸、酸化性物質

酸、過酸化水素、リチウム、アルミニウム、カルシウム、マグネシウム、カリウム、ナトリウム、亜鉛と激しく反応する。

危険有害な分解生成物

燃焼すると一酸化炭素、二酸化炭素、煙などを含む有毒及び腐食性のガス/蒸気の発生する。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)

rat LD50=784-1200mg/kg (DFGMAK-Doc. 2, 1991)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)

ラビット/ヒト (DFGMAK-Doc. 2, 1991)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)

ラビット 強い刺激物 (DFGMAK-Doc. 2, 1991)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

(二酸化チタン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(二酸化チタン)

ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない

(二酸化チタン)

日本産衛学会-2B: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

呼吸器 (SIDS, 2015)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(二酸化チタン)

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)

甲殻類 (ミシッドシュリンプ) LC50=0.99mg/L (US EPA: RED, 2005)

水溶解度

(二酸化チタン)

溶けない (ICSC, 2002)

残留性・分解性

(1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン)

BODによる分解度:0% (既存点検, 2003)

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

この材料は適法な焼却設備で廃棄処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

IMDG Codeに該当しない

IATA 航空危険物規則書

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

二酸化チタン

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

二酸化チタン

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

二酸化チタン(別表第9の191)

名称通知危険/有害物

二酸化チタン(別表第9の191)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成29年度)です。